

## 会 議 顛 末

令和5年度 第2回 富良野市国際交流審査委員会

日 時 令和5年10月18日 18:00～18:30

場 所 複合庁舎1階 文化会館会議室C

委 員 5名 田畑委員・原委員・泉委員・遠藤委員、刑部委員

事務局 奥田コミュニティ推進課長・高見市民協働係長・安西

### 1. 開会【事務局（奥田課長）】

### 2. 委員長あいさつ

7月に行かれた沖縄イングリッシュキャンプ、エクイノール インターナショナル ジュニアキャンプについての報告と、今回申請1件の審議をよろしくお願いします。

### 3. 国際交流事業報告について

#### 【事務局より説明】

#### (1) 沖縄イングリッシュキャンプ

富良野西中学校2年 四ツ嶋日向さんが7月23日から29日にかけて参加してきました。

外国人講師による授業を5日間受けるとともに、外国人宅にホームステイをして英会話を学びコミュニケーション能力の向上を実感することができたと報告を受けています。

#### (2) エクイノール・インターナショナル・ジュニアキャンプ

早稲田大学1年小池梓さんが7月30日から8月8日にノルウェーのサンドネス市で開催されたキャンプに参加してきました。

世界各国からジュニアアスリートが参加し、トレーニングに関する知識や、トレーニング・競技を通して、技術向上はもとより様々な文化交流も経験してきております。

9月26日には市長報告会を開催し、四ツ嶋日向さんから事業報告いただいています。

なお、小池梓さんについては学業のため、レポートのみの報告としています。

### 4. 国際交流事業補助金審査について

#### 【事務局】

申請団体は、富良野地域日台親善協会です。

事業の内容は台湾表敬訪問で、10月21日から23日の3日間です。

研修の目的はコロナ渦後インバウンドの受け入れが再開し、台湾との航空路線が復活し、富良野における台湾観光客が増加。台湾との交流を地方レベルで深化させ、台湾情勢の把握や人的交流を促進することにより、富良野地域における観光客の来訪や、文化や経済交流につなげていきたいとのことです。

研修計画としては、①北海道物産振興に取り組む商業施設の視察・意見交換 ②中華民国外交部省)との観光目的の往来活性化についての意見交換 ③中華民国農業部において、農産物を使用した商

品開発など農業振興について意見交換

事業予算 1,235,850 円のうち補助対象経費を 1,062,250 円とし、補助率 50%、千円未満切捨て、531,000 円の補助金申請となっています。

**【質疑応答】**

田畑委員：タイトな日程だが、目的は達成できるのか。

事務局：会長及び幹事長の交代に伴う台湾への挨拶と合わせての渡航と聞いています。

田畑委員：どのような売り込みをするのか？

事務局：外交部への観光活性化や農業部への商品開発などの企画提案など。

遠藤委員長：観光協会、農産公社のメンバーもいるので、台湾との交流が活発になるのでは。

刑部委員：出身母体の補助はないのか。

事務局：現地の経費等については協会経費として賄われている。

原委員：審査委員会から事業実施日までの日程が短すぎるのではないか。

事務局：補助金という性質上、採択されるか否かで事業が行えないというものではない。

1か月前に申請されたが、事業内容の精査に時間を要し審査委員会の開催が遅くなってしまった。

田畑委員：市への報告や活動の周知により、今後のさらなる活動につなげてもらいたい。

事務局：事業終了後、報告会や広報掲載等を行う

遠藤委員長：申請の期限について、申請が遅れた場合も認めるような文言整理が必要なのでは。

また、宿泊費について、金額として安いのでは。

事務局：宿泊費については職員旅費に準じているが、申請期限等の話も含め、意見として伺い検討する。

**【採決】**

遠藤委員長：補助金の交付について採決を取りたいと思いますがいかがでしょうか。

全会一致で承認

5. 閉会